



持続可能な開発
および持続可能な
ライフスタイル



異文化学習および
文化の多様性と
文化遺産の尊重



地球市民および
平和と非暴力の文化

第4回 ユネスコスクール関東ブロック大会

ユネスコスクールの 3つの柱

2023年

7月 30日(日) 10:00—17:00

東海大学児童教育学部(湘南校舎20号館)

神奈川県平塚市北金目4-1-1 (車でご来場の場合は事前にご連絡ください)

問合せ先: 東海大学国際学部 小貫大輔 bj.daisuke@tsc.u-tokai.ac.jp

主催: 東海大学
共催: かながわユネスコスクールネットワーク(KAN) / 成蹊大学 / 創価大学 /
玉川大学 / CRI-チルドレンズ・リソース・インターナショナル
後援(予定): ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)
協力(予定): 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)



unesco

Member of
the Associated Schools
Network

対象:

ユネスコスクール加盟校・キャンディデート校
および加盟に関心のある幼保小中高大の
教職員・生徒・関係者



参加申し込み

QRコードまたは
<https://onl.bz/fXxZADg>
よりお願いいたします。

ユネスコスクールに期待される取り組みの「3つの柱」とは、現場の教育にとって具体的にどのような活動をいうのでしょうか？それぞれの学校で、3つの柱をバランスよく教育活動の中に反映させるためにはどんな取り組みができるのでしょうか？

グッドプラクティスとされる実践から学び、参加者同士で意見を交換し合う機会をもうけたいと思います。顔の見える交流、ワークショップ形式のグループワークを取り入れ、大会後も継続できる関係を築けるような工夫を凝らしたいと思います。

2022年度に始まったユネスコスクール定期レビュー（評価）と、新しい加盟申請の方法についての説明も予定しています。ユネスコスクール事務局（ACCU）との個別相談コーナーも設けます。

プログラム

- 10:00** 開会のご挨拶
「ユネスコスクールに求められる3つの重点課題」
東海大学児童教育学部学部長 山本康治
- 10:10** ユネスコスクール定期レビュー（評価）の導入と
新しい加盟申請の方法について
ACCU教育協力部 藤本早恵子
- 10:30** **持続可能な開発および
持続可能なライフスタイル** 〔環境教育〕
横浜シュタイナー学園
人と自然の営みが循環する里山環境保全の
学びから地球規模の循環の学びへ
森のようちえん めーぶるキッズ
感じる (feeling) ことを通して学ぶ幼児教育
横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校
食育から取り組むESD(持続可能な開発のための教育)
- 11:30** グループワーク(情報・意見交換)
- 12:10** **ポスターセッション・昼食**

- 13:00** **異文化学習および文化の多様性と
文化遺産の尊重** 〔国際理解教育・多文化教育〕
横浜市立幸ヶ谷小学校
ルワンダとの交流、地域の
インターナショナルスクールとの交流
横浜市立南吉田小学校
多文化共生の学校づくり
- 13:40** グループワーク(情報・意見交換)
- 14:20** 休憩
- 14:30** **地球市民および平和と非暴力の文化**
〔平和・人権・ジェンダー平等教育〕
大妻中野中学校・高等学校
チームプロジェクト型の地球市民教育
～学ぶ・つなぐ・行動する～
湘南学園中学校高等学校
中高生からの呼びかけ「生理を知ろう」
～生理を通して多様性の理解へ～
- 15:10** グループワーク(情報・意見交換)
- 15:50** パネルディスカッション
- 16:50** 閉会のご挨拶

ポスターセッションへの 参加募集

「ユネスコスクールの3つの柱」に関連した教育活動のポスターや展示の企画を募集します。

* ポスターのサイズ、展示コーナーに設置する机や
機材などについては個別にご相談ください。

ランチのお申し込み

申し込み締切: **7月20日**

昼食をご希望の方は、申込フォームよりご注文ください。会場から徒歩10分圏内には「ローソン」、「すき家」、「はま寿司」、「ガスト」、「なか卯」もあります。

- 幕内弁当とブリックパックお茶 1,080円
- キッチンカーのポタージュライス 900円
〔添付のチラシ参照: 先着50名まで〕

ポスターセッション・ランチへのお申し込みは表面の「参加申し込み」フォームへのリンクからお願いします。

ユネスコスクールってなに？ 「3つの柱」の内容は？

ユネスコスクール(ASPnet)とは、世界182カ国から12,000校以上の学校が参加する国際的なネットワークです。幼保小中高の学校や教員養成系大学、その他のインフォーマル教育機関が参加し、ユネスコと連携して「人々の心の中に平和の砦を築く」ための革新的で創造的な教育への取り組みを生み出しています。取り組みの成果をユネスコスクール間で共有し、さらに地域の学校へ伝えていくことがミッションです。

2016年にSDGsがスタートしたことで、ユネスコスクールの果たす役割がますます重要視されます。2018年、ユネスコは各国のASPnetコーディネーターのための『ガイド(手引き)』を発行し、SDG-4「すべての人に質の高い教育を(特にターゲット4.7)」に沿った新しい指針を提案しました。その中で明示されたのが以下の「3つの柱」です。

1. 地球市民および平和と非暴力の文化
2. 持続可能な開発および持続可能なライフスタイル
3. 異文化学習および文化の多様性と文化遺産の尊重